

半田市長

榊原純夫 様

半田市政に関する
要望について

平成 29 年 11 月 24 日

半田商工会議所

半田市政への要望

日頃は当所事業活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地方創生の取り組みも戦略の策定から事業推進の段階に入り、半田市も持続可能なまちづくりを進めるため、将来に向け新たな成長路線を築き歩まねばならないのはご高承のごとくです。

半田市では、CLACITY のリニューアルオープン、半田運河周辺での催事開催、そして 55 万人余の観光客を集めた第八回はんだ山車まつりの開催で、交流人口が着実に増大しています。また、航空宇宙産業やバイオマス発電の運転など未来に向けてのプロジェクトも動き出し、民間企業における半田市への大型投資も順調に進められる中、引き続き雇用及び製造品出荷額の大幅な増加が期待されております。

さらに衣浦大橋の架け替え、衣浦港中央ふ頭西地区の造成、市内を縦断する JR の高架化など、半田市の活性化に繋がる火種が起きつつあります。

これら連綿と続く官民のプロジェクトを、未来に明るい、魅力ある半田に繋げるためには、行政、産業界が有機的に連携し“人・物・金・情報”を循環させるための仕組みづくりが必要です。

従前より当所からの要望についてご高配をいただいているところではありますが、将来を見据えた地域経済の活力創造に向けた事項を改めて要望を申し上げます。当所としましては、半田市とともに手を携えて取り組んでまいりたい所存ですので、特段の配慮をいただきますようお願い申し上げます。

《要望事項概要》

- I. 観光・文化振興支援施策の拡充
- II. 魅力あるまちづくり、まちの活性化促進
- III. 中小企業対策の充実
- IV. 企業誘致の積極的推進
- V. 防災・防犯対策の強化推進
- VI. 都市基盤・環境整備の推進

新規要望事項

①	類別	I.観光・文化振興支援施策の拡充
	枝番	1.山車・蔵・南吉・赤レンガを中心とした観光振興策の推進
	内容	・ 市内の JR 及び名鉄の各駅を拠点とした観光文化振興支援。 各駅から観光施設までの導線強化

②	類別	I.観光・文化振興支援施策の拡充
	枝番	1.山車・蔵・南吉・赤レンガを中心とした観光振興策の推進
	内容	・ 半田市の玄関口となる JR 半田駅、及び名鉄知多半田駅前に、「山車・蔵・南吉・赤レンガ」などに代表される半田のシンボリックな構築物の設置と乗降客に対する半田市の印象形成

③	類別	I.観光・文化振興支援施策の拡充
	枝番	1.山車・蔵・南吉・赤レンガを中心とした観光振興策の推進
	内容	・ インバウンド需要を取り込む具体的なビジョンの策定、並びにサイン看板、ガイドブック、パンフレットを多言語対応にすることによる外国人観光客の受け入れ体制の強化

④	類別	Ⅲ.中小企業対策の充実
	枝番	4 地元企業への就職促進支援
	内容	・ 就職希望者とその親に対しての地元中小企業の魅力発信

⑤	類別	Ⅲ.中小企業対策の充実
	枝番	5.人手不足対策、生産性向上に向けた支援
	内容	・ 働く意欲や能力のある女性・高齢者・外国人らが働きやすい環境整備（保育所の整備、社宅の整備、多言語対応の整備）

⑥	類別	Ⅲ.中小企業対策の充実
	枝番	5.人手不足対策、生産性向上に向けた支援
	内容	・ 地元中小企業の人手不足を埋めるべく、IT 導入に向けた支援制度の創設

⑦	類別	Ⅲ.中小企業対策の充実
	枝番	6.事業承継への支援
	内容	・ 市内の経済活動の基盤を支える中小企業・小規模事業者の存在意義の重要性の再認識 ・ 事業承継支援策の策定

⑧	類別	Ⅵ.都市基盤・環境整備の推進
	枝番	1.道路網の早期整備
	内容	・ 円滑な道路通行を実現するための都市計画道路・環状線、江川橋の早期整備

【Ⅰ．観光・文化振興支援施策の拡充】

1. 山車・蔵・南吉、赤レンガを中心とした観光振興策の推進

- ・ 市内のＪＲ及び名鉄の各駅を拠点とした観光文化振興支援、各駅から観光施設までの導線強化
- ・ 駅前に半田のシンボリックな構築物設置と乗降客に対する半田市の印象形成
- ・ インバウンド需要を取り込む具体的なビジョンの策定、並びにサイン看板、ガイドブック、パンフレットを多言語対応にすることによる外国人観光客の受け入れ体制の強化
- ・ 山車会館建設に向けた検討組織の創設
- ・ 他の自治体や関係事業者との連携による「醸・KAMOSU-」の地域ブランド化促進継続強化
- ・ 萬三の白モッコウバラ等の地域資源を活かした関連商品開発支援
- ・ 運河沿いの蔵景観を生かした催事の開催支援
- ・ 運河東側沿い味噌蔵エリアの体験型・醸す施設化への整備促進支援
- ・ 「知多酒で乾杯」の普及と推進の継続

2. 半田の文化振興を生かしたまちづくり

- ・ 市との共催による音楽祭の継続実施や文化を高揚させる施策の実施

【Ⅱ．魅力あるまちづくり、まちの活性化促進】

1. 中心市街地の賑わい創出

- ・ 名鉄知多半田駅を繋ぐクラシティ３階の公共フロアの配置の見直しと階下の商業フロア等への誘導強化
- ・ 知多半田駅前ロータリーの規制緩和による地上公共駐車場確保
- ・ 主要観光施設と連携した賑わい創出イベントへの継続支援

2. 半田のまちに活力を生む支援

- ・ 商業施設助成事業の平成 30 年度以降の継続実施、古民家活用や不足業種等への助成金額の拡充

3. 歴史的建造物の保存活用への支援

- ・ 小栗家住宅、春扇楼末廣、中埜半六邸など、中心市街地の中核施設としての保存活用支援

【Ⅲ．中小企業対策の充実】

1. 地元企業への優先かつ適正価格発注による健全な発展の促進

- ・ 地元中・小規模企業への地域貢献度合いによる優先発注、並びに受注機会の創出を考慮した入札制度の更なる推進
- ・ 原材料等市場価格の変動を反映した発注価格への事前積算からの見直し、及び改修工事等における事前積算根拠に基づく発注価格の見直し

- ・ 公共事業の市外受注企業に対する地元企業活用への更なる指導
2. **地元消費喚起の促進**
 - ・ 木造住宅の耐震化と地元企業への受注促進のため、『耐震改修費補助（木造住宅）』の平成 30 年度以降の継続実施
 - ・ 充実した店舗数と特徴を有する半田市の飲食サービス業を主体に、更なる交流人口の増大、事業所の発展、活性化に繋げる一環として当所が実施する消費促進事業への支援、「醸-KAMOSU-」の地域ブランド化と一体となった事業展開への半田市の参画と当所、関係機関、事業者等との協働、及び支援
 3. **地元企業の販路拡大への支援**
 - ・ 地域活性化に繋がるふるさと納税お礼品の拡充、並びにお礼品採用事業にかかる説明会、認定等の実施
 4. **地元企業への就職促進支援**
 - ・ 半田市内に本社を有する中小企業・小規模事業者における優秀な人材の確保、雇用増加、及び他地域への人口流出の抑止に繋がる地元企業への就職を促進するための情報交換会等交流の機会の創設
 - ・ 就職希望者やその親に対しての地元中小企業の魅力発信
 5. **人手不足対策、生産性向上に向けた支援**
 - ・ 働く意欲や能力のある女性・高齢者・外国人らが働きやすい環境整備（保育所の整備、社宅の整備、多言語対応の整備）
 - ・ 地元企業の人手不足を埋めるべく、IT 導入に向けた支援制度の創設
 6. **事業承継への支援**
 - ・ 市内の経済活動の基盤を支える中小企業・小規模事業者の存在意義の重要性の再認識
 - ・ 事業承継支援策の策定

【IV. 企業誘致の積極的推進】

1. **企業誘致用地の早期確保具現化**
 - ・ 半田市東部の中億田町・東億田町周辺で計画されている新設工業団地構想の早期具現化
2. **企業誘致推進体制の早期整備**
 - ・ 進出企業への一定期間の優遇措置の早期策定
 - ・ 法人市民税超過課税の撤廃
3. **地域との共生**
 - ・ 進出企業に対する地域経済団体及び自治会への加入要請の継続

【V. 防災・防犯対策の強化推進】

1. 行政と企業による防災・防犯協働社会の推進

- ・ 安心・安全で働きやすい半田市を目指すべく、半田市と市内事業所が防犯について検討しあう機会の創設

2. 防災・減災の強化と広報・教育の拡充

- ・ 衣浦大橋（北側橋梁）の早期架け替え整備による減災強化
- ・ 老朽化公共インフラの早期更新整備による減災強化、及び緊急物資等円滑な運搬に繋がる市内緊急輸送路の整備確保

【VI. 都市基盤・環境整備の推進】

1. 道路網の早期整備

- ・ 衣浦大橋の抜本的渋滞緩和策としての衣浦海底トンネル通行料の低廉化及び料金所のE T C設置
- ・ 円滑な交差点通行を可能とする右折レーン及び矢印式信号の設置（十一号地東交差点、浜田町1～3交差点等）
- ・ 交通量増大に適応した道路（歩道）整備及び交差点の信号設置（環状線浜田町1交差点以南道路、日東橋北側交差点）
- ・ 円滑な道路通行を実現するために、乙川北部からのJ R跨線道路をはじめとする都市計画道路・環状線、江川橋の早期整備

2. J R武豊線及び名鉄知多半田駅周辺の鉄道高架化事業の推進による道路渋滞の緩和と道路交通網の整備

- ・ J R武豊線及び名鉄知多半田駅周辺の鉄道高架化事業の推進による道路渋滞の緩和と道路交通網の整備

3. 環境対策の推進

- ・ 次世代を担う子どもたちに向けた環境教育の普及促進
- ・ 家畜糞尿を起因とする臭気対策の推進

平成29年11月24日

半田商工会議所
会頭 榊原康弘